

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第60号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。



発行 東北風景写真家協会 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 パルシティ仙台 1階F号 東北カラーデューブ株式会社榴岡店内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 進藤・阿部

東風季報60号に思う 秋葉健一

東北風景写真家協会が発行した翌年に季報第1号が創刊された。以来一度も休むことなく現在に至っているのは喜びに堪えない。通常の「〇〇会報」ではなく、「東風季報」の名前が景を中心として、写真を通して季節の変化を楽しむという会の趣旨が感じられよう。何の取り決めもなく、試行錯誤で編集に関わってきたことを思い出す。

「東風季報」はカメラ店にも置かれ、誰でも手に取ることができ好評を頂いた。発足したばかりの当協会が広く知れ渡り、活動も半ば公開のようになった。となると、内容にミスがないように編集にも緊張が走る。

季報は一面には会の活動に関するいわば会報的な内容を中心に、2面は会員からの寄稿などの記事を中心にとめるようになった。振り返ると、東北各地の撮影地の紹介も多く、この人ならではの穴場に関する心を持った。中判カメラに関する記事も目立ち、しっかりした写真への意気込みが伝わってくる。名前を記し詳細は直接伺えるようにした。

いくつもの、シリーズ記事も思い出に残る。おなじみ、「あんな話、こんな話」は長く連載され、対面中心にまとめるようになった。振り返ると、東北各地の「風景写真とデジタルカメラ」へと繋がっている。「写真美術館巡り」では、東北にもこんなに沢山の山ありと興味深い。そして、「Photo Books」、実はこれらの掲載は編集上のスペース調整に役立つこともある。

おそらく最大の危機は2011年3月の東日本大震災。日常活動もままならぬとき、6月1日の季報16号には、「震災を乗り越えて進もう」の会長メッセージを載せ、風景写真の持つ力を信じ、活動も通常に戻ったかにみえた。

一方、戸惑う間もなくフィルム写真がデジタル写真に変わり、現実はどうぞんデジタルの時代へと進んでいく。2012年には東風協のホームページが公開され、東風季報も創刊号からいつどこでも見ることができるよう。大げさな言えば世界デビューである。

デジタルカメラやそれに伴うパソコン操作など課題だらうか？

そして季刊が続くことを願う。色々と困難を感じながらの作品展でしたが、ご来場の皆様が会場写真談話をする姿を見るにつけて、『作品展の場が東北風景写真家協会の会員を始め写真愛好者皆様の素晴らしい集いの場となることを願っている』との当初の目的の一つは達成されたのではと思っております。

第7回作品展の開催を顧みて 担当幹事・高瀬英雄

このたび、本協会の作品展を開催し、無事に千秋楽を迎える事が出来ましたので、会員の皆様に寿ぎと感謝を申し上げます。

例えば、この作品展企画は令和二年七月開催の予定でしたが、コロナ感染症拡大防止策に従い、開催の中止を余儀なくされ、更に同年十一月に再企画するも延期せざるを得なく、実に三年越しの本年五月、念願の作品展開催が実現しました。

展示内容の概況は次の通りです。

・出品総数：77点
・来場者数：956人

このような開催結果を得るまでには、作品展担当幹事として先崎氏と連携を保ち、一喜一憂の感觸を共有しながら、時の経過を委ねておりました。この間の作業の進捗状況や会員の方との交流を通じた経緯から気付かされたこと

がありますので、幾つかの事柄を思い出し、少しく述べてみたいと思います。

中でも一番印象に残るのは、三年掛かりの催事なのに準備終盤に、苛々も感じる作業の停滞と共に、予定通り定常開催に漕ぎ着けられるのかと、ちむどん

どん(ドキドキ感)した事です。

要するに、出展予定会員からの作品データ集約が敵わず、展示レイアウト計画策定の遅延、また展示会場に備えるべくパンフレットの印刷の遅延があり、開催初日に間に合うかどうか

が心配されました。本来ならこの種の印刷物は余裕をもって文字校正等も踏まえて完璧な展示目録として仕上げ、ご来場いただく皆様にのご案内致すべく、主催者ができる唯一のアピール手段なのであります。

この準備段取りが滞ったことで印刷発注できたのは四月二十六日夕刻で、この

後、連休が続くこの時期でもあり、開催初日に間に合うかハラハラの心境でした。が、我々担当者だけでなく、周りの役員・幹事さんのご助力もいただき、連休期間の合間の5月2日に無事納品いただきました。

ことに感謝する次第です。

次は、前述の経緯後に、やっと自分の出展作品の額装作業に取り掛かりました。が、2点中、1点のマットサイズが手持ちのサイズに合わずに慌てました。

頃は前述の通り連休過ぎの時期でしたが、これも周りの方々のご協力をいただいてなんとか間に合いました。

これにも感謝しました。

最後に皆さんも夫々思い当たる事と思いますが、会員さんとの意見交換から感じた話題ですが、個々に所有し、蓄積する一方の作品の処理処遇の方法です。再利用や有効活用には

下さい。

今回の作品展が無事終了できましたことをご報告し、併せて会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

※77銀行個人向けインターネットバンキングご利用の場合、振り込み手数料は全て無料になります。スマホとキャッシュカードでネット口座があれば誰でもネットで申し込みできます。

お問い合わせ先 会計担当 孫田幹事宛 0900123660

20973

トウホクフウケイ シヤシヤンカキョウカイ

★令和4年度年会費の納入のお願い

今年度までの年会費未納の方は直接お振込みをお願いいたします。

年会費(3,000円)は、左記のいずれかの口座宛お振込み下さい。

振込手数料はご負担をお願いします。

●七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599

●東北風景写真家協会 ゆうちょ銀行 18190

14388881

トウホクフウケイ シヤシヤンカキョウカイ

お問い合わせ先

会計担当 孫田幹事宛

0900123660

20973

トウホクフウケイ

シヤシヤンカキョウカイ

お問い合わせ先

会計担当 孫田幹事宛

※77銀行個人向けインターネットバンキングご利用の場合、振り込み手数料は全て無料になります。

スマホとキャッシュカードでネット口座があれば誰でもネットで申し込みできます。

お問い合わせ先

会計担当 孫田幹事宛

0900123660

20973

トウホクフウケイ

シヤシヤンカキョウカイ

お問い合わせ先

会計担当 孫田幹事宛

0900123660

20973

トウホクフウケイ

シヤシヤンカキョウカイ

お問い合わせ先

会計担当 孫田幹事宛

お知らせ 第13回にっこり写真コンクール 竹内 正賞

「八景島昇陽」岩城 剛 特別賞 「冬の足音」小倉山裕行

「太平洋写真学校賞」 高橋 睦子 「遠望」 高橋 睦子

「大岩の荒波」大友悦男 佳作 「輝きをあなたに！」

「川船の安息」阿部 和之 「冬濤」 趙瑞

受賞おめでとうございま す(敬称略)

【新規ご入会会員紹介】 佐藤 利文さん 黒川郡大和町吉岡

以上

お祝い

★令和4年度年会費の納入のお願い



作品展最終日：作品撤去前にみんなで



作品展完了後竹内会長のご説明

お知らせ 「東風季報」は発行以来60号に達しました。これまでご寄稿頂きました皆様に感謝申し上げます。

東北風景写真家協会 秋季撮影ツアー 八甲田方面でホテルの手配を河北新報トラベルに依頼していましたが、コロナ対策で各ホテルとも団体客の絞込みを行っている為、確保出来ません。

僕を花の撮影に誘うもの

熊谷正

▼「操作覚えた言うたかて花の写真に走ったらあかん。アップして後ろボカして、そんでみんな一緒やん。つまらん！」

某メーカーの超初心者向け講座で女性講師がそう言い放った。「そないなことあらへんのとちゃう？」と気の弱い僕は心の中で(それも講師にしたら似非閑西弁で) 咳いた。

▼「綺麗な植物図鑑が沢山あるのに花の写真なん

りときりげなく見るのであって、近寄ってじろじろ見るのは実に下品である」と言っている。その論からすると構図がどうのピントは蕊に合わせるか花弁に合わせるか、前ボケ後ろボケはどうかなどと「チラ見」どころか舐めまわすように見て撮る僕らは「下品」「野暮」の極みなのかも知れない。

▼子供の頃、自宅近くの牛越橋から広瀬川を渡り

た。「あはれ花びらながれをみなごに花びらな路来てなにやらゆかしすみれ草 芭蕉」折々の風景に合せてそんな詩歌を口にしながら袖道を歩いたことは少年の日の懐かしい記憶。今は曖昧となった詩歌の記憶の断片を懐かしみながら、カメフラ片手にしばしば近くの森を歩き回っている。

▼佐藤春夫の詩が今朝も僕を野山に誘う。「野ゆき山ゆき海辺ゆき 真昼の丘へ花を敷き」それにしても中学や高校で学んだ詩歌

の記憶は花の撮影欲を刺激する。少なくとも冒頭の女性講師よりは花を楽しむ心があることが楽しい。

▼皆さんを花の写真撮影に誘うものは何ですか？

▼前回スマートフォンによる風景写真の撮影について掲載したところ、予想外の反響がありました。個々の質問については回答しましたが、最近の写真展会場で「ママタタ」新発見がありました。風景写真の撮影に一石を投ずるのではないかと感じましたので取り上げました。

▼表題のコンパクトデジタルカメラの高倍率ズームレンズを使用し風景写真を撮影した作品は、手軽に手持ち撮影されています。

写真評価とは？

佐々木 康照

写真評価について論じようとする大それた話ではない。自分自身の写真活動について少しばかり愚痴を述べてみたいと思

った次第。もっと言え、なかなか評価されないアマチュア写真家としての「恨み言」でもある。

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

▼「綺麗なものかもしれ

風景写真とデジタル写真10 「コンパクトデジタルカメラによる高倍率ズーム撮影」

竹内正

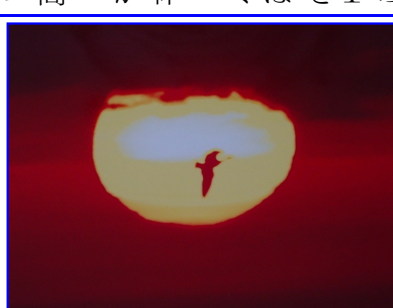
▼1/2.3インチの撮像素子搭載機はコンパクトですが、1インチの撮像素子搭載機はAPS機並みに大型化されています。

▼購入を検討する場合はEVF(電子ビューファインダー)搭載機種をお勧めします。ライブビュー撮影では確実なフォーカスが来ません。

▼実価額はレンズの焦点距離により8万円〜18万円位です。作例写真はイメージです。

▼3年越しの作品展が終了しました。次の作品展やコンテストなどに向かって動き出しましょう。

▼お知り合いの方への新規入会お声がけも、よろしくお願いたします。



作例作品 (1)



作例作品 (2)

▼3年越しの作品展が終了しました。次の作品展やコンテストなどに向かって動き出しましょう。

▼お知り合いの方への新規入会お声がけも、よろしくお願いたします。